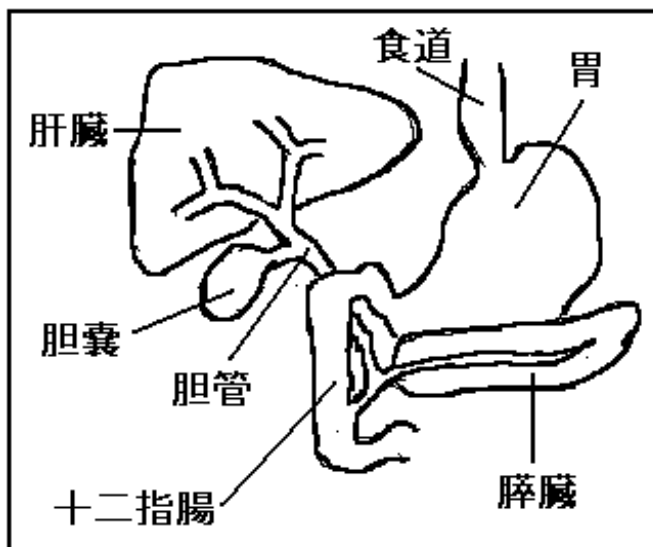


# 閉塞性黄疸についての説明

私は、患者\_\_\_\_\_様に対して、閉塞性黄疸について説明いたしました。

## 1. 「黄疸」って何？

肝臓はさまざまな働きをしていますが、その中の一つに「胆汁」という、おもに脂肪を分解する消化液(酵素)を生成しています。肝臓で生成した胆汁は、肝臓の中の「胆管」という管を通して十二指腸に排出します。胆管の途中には「胆嚢」があり、肝臓で生成した胆汁を効率よく使うことができるように、一時蓄える役目を果たしています。食物を食べたときこの胆嚢が収縮し、胆汁を十二指腸に排出します。大便の色が茶色いのは、おもにこの胆汁の色です。



胆管が何かの原因で狭くなったり(狭窄)、つまったり(閉塞)して通りが悪くなると、胆汁を十二指腸に排出できず、胆管の中に溜まってしまいます。そのため胆管が太くなり(拡張)、胆汁の成分(ビリルビン)を血液の中に再吸収(逆流)して、皮膚や目が黄色くなってきます。この状態を「黄疸」といいます。

胆管の通りが悪くなっておこる黄疸は、肝炎などの肝臓そのものの病気で、肝臓の細胞が壊れたときに起こる黄疸である「肝細胞性黄疸」と区別して、「閉塞性黄疸」といいます。

## 2. どのような原因で「閉塞性黄疸」

### がおこるのでしょうか？

「閉塞性黄疸」の原因はいろいろありますが、一番多いのは胆管内に石ができて通りが悪くなる「胆管結石」です。その他の原因には、「胆管腫瘍」「胆管炎」「胆嚢炎(胆嚢が腫れた状態)」や、「胆嚢の腫瘍」など、胆管そのものが狭くなる場合や、「膵炎(膵臓が腫れた状態)」「膵臓の腫瘍」「肝臓の腫瘍」「リンパ節腫大」など、胆管が周りから押されて狭くなったり、つまってしまう場合などがあります。治療法を決めるために、閉塞性黄疸がおこっている原因について、さらに検査を進めていくことになります。

## 3. 「黄疸」になったらどのような症状がおこるの？

黄疸になると、皮膚や目が黄色くなったり、体がかゆくなったりします。血液検査では黄疸の程度を示す「ビリルビン」の値、胆管の障害の程度を示す「アルカリフォスファターゼ(Al-P)」や「 $\gamma$ -GTP」の値が増加してきます。また、胆汁が血液の中に再吸収され、腎臓から排泄されるようになりますので、尿が濃い紅茶のような色になってきます。さらに、胆汁が腸に流れなくなりますので、便の色が白っぽくなってきます。

#### 4. 胆汁が溜まり、「黄疸」が続くとどうしていけないの？

黄疸が長く続くと、血液の中に増加した「ビリルビン」が、大事な臓器や組織に蓄積し障害を与えます。肝機能、腎機能が悪くなったり、また、腸内の細菌が胆汁の流れが悪くなった胆管に逆流し、感染して「急性胆管炎」をおこすと高い熱を出し、肝機能不全の状態になり、命に関わる危険性も出てきます。

#### 5. 「閉塞性黄疸」の治療は？

閉塞性黄疸を改善するためには、まず、胆管の中に溜まっている胆汁を、体の外に出す必要があります。拡張した胆管に「細い管」を入れ、胆汁を体の外に排出します(ドレナージといいます)。方法として、皮膚・肝臓を通して胆管に細い管を入れ、胆汁を外に出す「経皮経肝的胆管ドレナージ」や、胃カメラの要領で十二指腸の胆管の出口から管を入れる「内視鏡的胆道ドレナージ」があります。

ドレナージにより胆汁を体の外に排出すると、黄疸が改善してきます。それにしたがって、熱のある場合は熱が下がり、皮膚や目の黄色い色や体のかゆみもとれ、尿の色も元通りの薄い黄色になってきます。しかし、胆汁は体の外に出て腸に流れませんので、大便の色はまだ白っぽいままです。

#### 6. その後の治療は？

黄疸がある程度改善(総ビリルビンの値が 3mg/dl 以下)してきたら、胆管に入れた管から「造影剤」を注入して撮影し、胆管がどこで・どのように・どうして狭窄または閉塞しているのかを診断します。この造影検査は、黄疸の改善具合によりますが、ドレナージを行ってから 2～3 日ぐらい後になります。

閉塞性黄疸をおこしている原因がわかりましたら、本格的な治療に移ります。どのような治療を行うのかは病気によってさまざまです。本格的な治療が始まってこのドレナージは、胆汁が十二指腸に流れる状態になるまで(手術を行った場合はその後)、しばらく入れておくことになります。

今後どのような検査を行い、また、どのような治療を行うのかは、主治医から詳しく説明させていただきます。

平成 年 月 日 説明医師 科 印

〒781-8555 高知県高知市池2125-1  
高知医療センター 電話：088-837-3000